

2009 年 第 13 回日本統合医療学会 (IMJ)

「生源」の発酵に用いる乳酸菌 BF-LP284 株の抗アレルギー作用のマウス継代実験

○伊藤幸恵 1)、中村智子 1)、大縄悟志 1)、新 良一 1)、水谷武夫 1)、金内長司 1)、三浦竜介 2)
1) (株)エイ・エル・エイ中央研究所、2) (株)シー・エム・シー

乳酸菌の混合培養による発酵産物「生源」に使用される *Lactobacillus plantarum* ALA 株 (BF-LP284) は抗アレルギー作用を有すると考え、今回、本株を親子 2 世代に亘り摂取した場合の影響を検討した。

【方法】

親マウス交配 1 週前から BF-LP284 の摂取 (10mg/日) を開始し、子マウスにおいても継続。子マウス 7 週齢時に、親子共に非摂取 (C-C)、親摂取、子非摂取 (LP-C)、親非摂取、子摂取 (C-LP)、親子共に摂取 (LP-LP) の 4 群に分け、卵白アルブミン感作にてアレルギーを惹起し、経時的に血清総 IgE 値を測定した。

【結果】

総 IgE 値は LP-C 群で C-C 群比 18% の抑制傾向、C-LP 群で 34% ($P < 0.01$) の抑制に対し、LP-LP 群では 58% ($P < 0.001$) の抑制を示した。

【結論】

BF-LP284 の抗アレルギー作用は 2 世代に亘る摂取により増強された。